

No.1 事業名:島しょ部傾斜地農業に向けたAI/IoT実証事業 (代表者:とびしま柑橘倶楽部) (1/3)

■事業概要

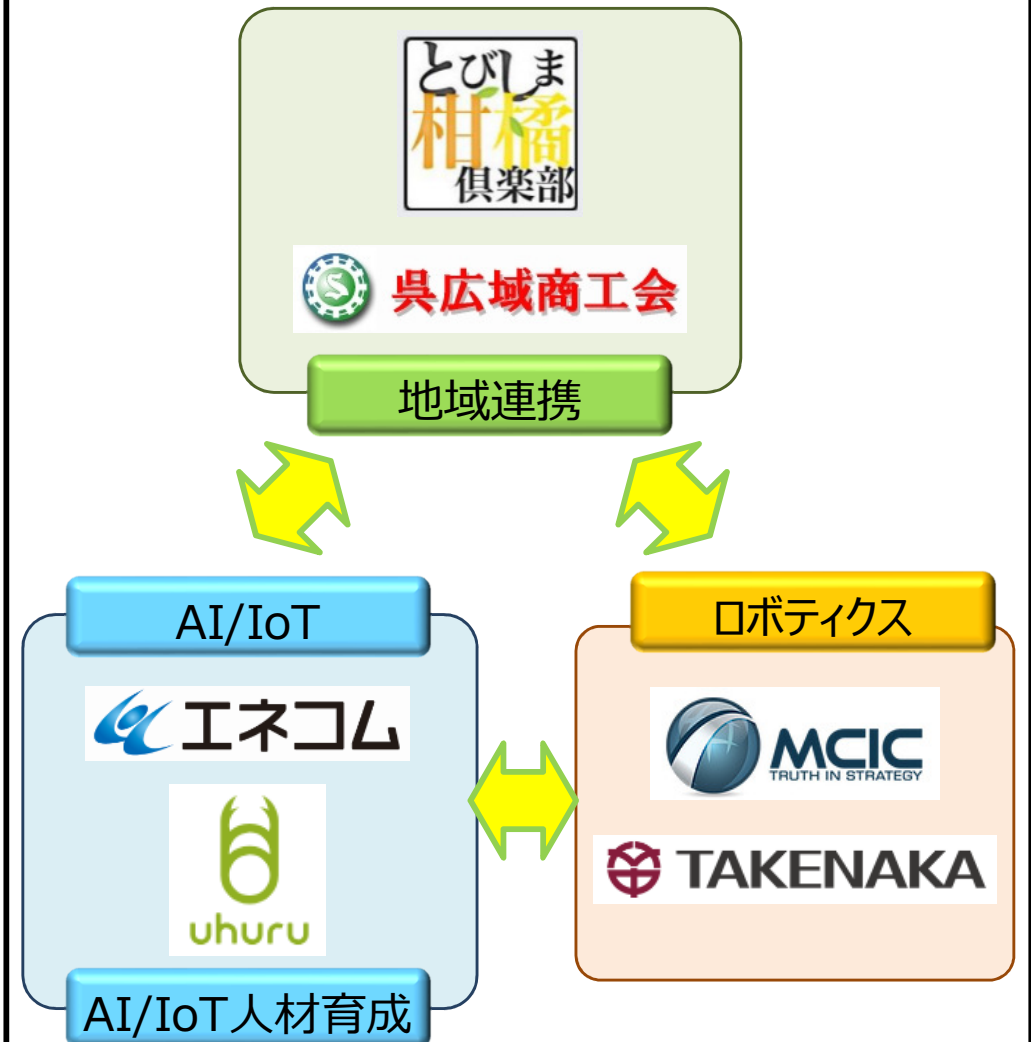
「農業生産のICT化・機械化を推進し、レモン収量増を目指す」

～ICT(愛)とレモンで島おこし～

傾斜地におけるレモン栽培に係る様々な情報(環境データ, ノウハウなど)のセンシング技術等を活用したデジタル化, 非効率な労働環境のロボットによる作業支援など, 生産性向上を目指した実証実験を行います。

さらには, これらの技術を災害対策や地域住民の見守り, 人手不足解消など, 地域課題解決のためにも応用的に活用し, 地域活性化に繋げていくことを目指しています。

■コンソーシアム体制・役割



No.1 事業名:島しょ部傾斜地農業に向けたAI/IoT実証事業 (代表者:とびしま柑橘倶楽部) (2/3)

■課題

- ・高齡の生産者によるカンと経験に頼る農業
- ・傾斜地農業による非効率な労働環境
- ・生産から消費までの各段階における境目の存在

■課題解決に資するAI/IoTサービス

- ・農業(環境, 生産プロセス)のデジタル化
- ・ロボット活用などによる生産性向上
- ・地域課題解決・活性化による生産者の人手不足解消

■スケジュール・実証成果目標

【H30】

- ・IoT基盤(データ収集基盤)の構築
- ・ドローン, ロボットの基本性能試験
- ・フィールドワーク等の実施

【H31】

- ・収集データの分析(AI等), 精度向上
- ・ドローン自律飛行試験
- ・衛星データの活用検討
- ・ロボット負荷性能, ドローン自律飛行試験
- ・フィールドワーク, ハッカソン等の実施

【H32】

- ・AI/IoT, ロボット技術の連携・実装
(実際の生産作業における効果検証)
- ・フィールドワーク, ハッカソン等の実施
(アウトプットの地域実装など)

目標「5年後レモン収量30%増,
将来は収量倍増を目指す」

No.1 事業名:島しょ部傾斜地農業に向けたAI/IoT実証事業 (代表者:とびしま柑橘倶楽部) (3/3)

■事業実施のアピールポイント等

AI/IoT・ロボットによる実証成果をもとに、新たな農業を生み出し、地域の活性化を目指す。

「レモン+生産者+ロボット」の融合

- ・レモンの樹と生産者のコミュニケーション
- ・生産者の作業をロボットが代替

双方向
コミュニケーション



シェア型レモン農園

- ・体験型シェアエコ・ツーリズムとの融合による人手不足解消

採れたレモンをシェア!



レモン認証制度

- 従来基準（大きさ・重量・キズ）に加えて、
香り・甘み・酸味などを付加した新しい
“広島産レモン基準”

ドローンの拡張利用

- モノ（レモン）・ヒトを運ぶドローン!

